

広報



かわにし

昭和 60 年 6 / 10 No.322

948-01 新潟県中魚沼郡川西町大字水口沢12番地 (☎ 0257-68-3111)

発行 町長 南雲春雄 編集 総務課文書広報係 印刷 白南風社

(毎月10日発行)

人口の動き	
— 6月1日現在 —	
男	4,776 (-7)
女	4,873 (+5)
計	9,649 (-2)
世帯数	2,324 (±0)
() 前月比較	



「健康づくり歩け歩け大会」は、千手地区体育振興会の事業の一つです。

日 and に恵まれた六月二日の大会には、三百人もの方々が参加しました。

コースは、総合センター前から羽黒山を通り、林道峰方線を高倉地内で折り返し、松葉沢公園までの十二キロです。

午前八時四十分、いっせいにスタートしました。山道の上下りは苦しいですが、若葉の香りが清涼剤となります。それぞれがマイペースを守り、二時間半から三時間半くらいをかけてゴールインしました。

十二キロを歩き通した満足感に浸りながらのお昼は、ぶた汁のサイビスもあって、格別のおいしさでした。(写真は折返点付近)

6月の休日救急医

16日	中条病院 (中条)
23日	山口医院 (下条)
30日	至誠堂医院 (西浦町)

7月上旬の予定

7日	至誠堂医院
14日	千手診療所

議会 報告

第三回町議会臨時会が、先月十七日に開かれました。

この議会には、税条例の一部改正などの専決処分事件の承認、六十年度一般会計補正予算、教育委員会委員任命の同意の議案が提出され、審議の結果いずれも原案どおり承認・可決・同意されました。

町民税の均等割(個人)が 千五百円にアップ

▼税条例の一部改正

主な改正は次のとおりです。

①個人町民税の均等割の税率「千円」を「千五百円」にしました。

②軽自動車税の原動機付自転車の税率に、三輪以上のもの(ミニカー)で、総排気量〇・〇二リットルを超えるもの、

または定格出力が〇・二五キロワットを超えるものに対する税率、年額「千五百円」が加えられました。今年の二月十五日以前に取得したミニカーについては、当分の間「千円」です。

③宅地、農地に対して課する各年度分の固定資産税の特例として、六十年度の固定資産の評価替えに伴い、負担調整措置(一挙に税金が上がるのを防ぐため)を三年間延長することになりました。

六〇豪雪

災害対策事業費を計上

▼五十九年度一般会計補正予算(専決第九号)

各種基金の運用益金の精算処理を行うためと、町債許可額の決定による発行限度額の変更を行うため、予算補正が必要となりましたが、議会を招集する暇がなかったことにより、専決処分となっていたものです。

歳入歳出にそれぞれ八十八万一千円を追加し、予算総額を二十九億九千九百八万二千円としました。

歳入を見ますと、財産運用収入が八十八万一千円増え、町債の千二百万円増の分がそっくり基金繰入金で減となっています。

▼六十年度一般会計補正予算(専決第一号)

消雪の遅れによる水稲や葉たばこなどの減産を防ぐことを目的とした、異常豪雪災害対策事業を実施するために、予算の補正が必要となりました。

追加額は五百五十三万九千円で、予算総額は二十七億八千五百九十九万九千円となりました。

歳入は、県の補助金が二百四十一万円の増、一般寄付金が三百十二万九千円の増となっています。

歳出では、農業振興費の消耗品費に百四万円、除雪用機械賃借料に四百六十三万三千円を追加し、予備費を十三万四千円減

額しました。

上野小学校

仮校舎は プレハブのリース

▼六十年度一般会計補正予算(第一号)

一千万円の追加で、予算総額は歳入歳出それぞれ二十七億九千五百三十九万九千円になりました。

歳入は、固定資産税の償却資産分を一千万円増やしました。

歳出の主なものは、学校建設費(上野小学校)の九百七万五千円の増です。

上野小学校の木造校舎改築工事は、六十、六十一の二年度にわたります。この間、授業をどこで行うかが第一の問題となりました。当初予算編成の際は、現校舎を引き家にして使用する計画でしたが、仮校舎としてプレハブのリースが妥当という結論に達しました。リース期間は七月一日から来年の六月三十日までの十二か月間です。仮校舎はグラウンドの中央部に建つこととなります。もちろん耐雪型です。

学校建設費の補正の中身は、仮設校舎賃借料を七百七十二万五千円計上し、改築関連工事分

を七百六十万円削減したことと、学校用地買収費と家屋等補償に合わせて八百八十万五千円を計上したことが主なものとなっています。



採決の様子

教育委員会委員に

金子幸作氏

教育委員会委員の登坂敬恒氏の任期が五月十九日に満了することにより、後任に金子幸作氏(岩瀬)を任命したい旨町長から提案があり、議会の同意を得ています。任期は四年です。

金子さんは、町職員として社会教育課長や町史編さん室長などを歴任のうえ、昭和五十八年三月に退職されました。



審議の様子

アイデア大募集

「合併30周年記念事業」はみんなの手で

各種催し物

30周年を祝う楽しい行事。みんなで参加し、明日の活力を養うもの。

例 町をあげて大川西祭を催し、30周年を祝う。

町の未来を考える

21世紀に向かってスタートする町。その未来を考える契機となるもの。

例 利雪・充雪を語る討論会を開催する。

記念を刻む

町の歩みを振り返るとともに、町民であることの認識を新たにし、その記念を刻む。

例 全戸が同じ木をいっしょに記念植樹する。

記念式典

町村合併30周年の節目を祝い、今後の発展に結び付くもの。

例 姉妹都市を結び、広く川西町を知ってもらう。

合併30周年記念事業

アンケート

その他

ここには、自由なアイデア・ご意見・ご要望をお書きください。

昭和三十一年九月一日に一町三か村が合併し、川西町が誕生してから来年で三十年となります。

町では、「合併30周年記念事業検討委員会（町職員八人で構成）」をこのほど設けました。検討委員会では、住民総参加を基調に、まず住民一人一人の意見を集約したうえで、その中からみんなが参加できる事業を企画し、実施しようということになりました。

今回配布のアンケート用紙に、子供さんも含め、ご家族でそれぞれのアイデアを出し合い、ご記入ください。

アンケート用紙は、六月二十五日ごろ囑託員から集めていただく予定です。

八人の委員が、ごく限られた範囲で耳にしたことを次に掲げ

- てみました。参考になれば幸いです。
- ①全町統一の「かわにし祭り」町内パレード、花火、民謡流し……など
 - ②町の花「山ゆり」を増やそう
 - ③健康優良児表彰（幼児・小学生・中学生・高校生など）
 - ④苗木や球根の配布・植樹、扶植

- 「ぶな太郎賞」「百合子賞」
ミスかわにしコンテスト
④タイムカプセル埋蔵
⑤風船をいっせいに放つ
⑥川西の歌募集・制定
⑦保健衛生大会
⑧町内駅伝（聖火リレー）
⑨記念碑建立（どこからでも見えるところ）
⑩美術・芸能展、目で見る民俗資料展



「ふれ愛パック」で

お届け
します
〃ふるさとの味と心〃

農山村地域で人口の過疎化、主産業である農林業の兼業化などの諸問題を抱えているところでは、それを解決するため、企業誘致、地場産業の育成、地域特産物の開発、自然景観と農林業を組み合わせた観光開発などを図り、若者が定住できる豊かな村づくりに取り組んでいるところだ。

一方都会では、農山村とは逆に人口の過密化、ふるさとを持たない人の増加という状況となり、それらの人たちのふるさと志向、言い換えると農山村地域との触れ合いを求める動きが近年高まっています。

川西町としても、これら社会情勢の動きの中で、地域産業おこしや村おこし対策として、都会との多面的な交流を実施していく必要があります。

この方策の一つとして「ふれあいパック事業」を創設し、都会の人から「ふれあいパックの会員」となっていただき、ふるさとの季節の味覚や地域特産物の送付、各種イベントの開催などで、町民と会員との心の触れ合いを深めていく中で、活力のある豊かで住みよい町づくりに役立てようと計画をしました。

「ふれ愛パック」

とは……

私たちの町、川西町の自然味あふれる特産物を会員の方々に

送り届けることを主体に、自然を生かした体験農園や雪上レクリエーションを通して、都会の人たちとの交流を深めようというのが「ふれあいパック事業」です。

この事業は、「ふれあいの心」をたいせつにしながら、「味覚」と「自然」、そして「まごころ」

を「ふれ愛パック」にセットして会員の方にお届けし、川西町を味わっていただくことから始まります。スタートはこの秋からです。

皆さんからも、川西町の「ふれ愛パック」を都会の知り合いの方々に広めていただければ幸いです。

対象は関東と信越の方々

鮮度を重視して

会員には、私たちの町の出身者に限らず、心のふるさとを求めたい方、ふるさとの味や特産品を楽しみたい方、どなたでもなることができます。

会費を納めていただきますと「ふれあいパックの会員」として登録し、会員証を発行します。

ただし、お届けする産物の品

質と鮮度を保つため、会員となっていたただける地域を翌日配達可能な関東一円、信越地域の方々に限らせていただきますのでご了承ください。

年間計画としては、三回の特産品の発送、二回の交流会の実施、そのほか「ふれあい情報」などをお届けする予定です。

LOOK
ふるさと'85

若い衆向けの
パンフレットを作成



「……いろいろな種類の職場ができれば、たくさんの若い人たちが地元に残るように思うんですけど……高3の少女より」で始まるパンフレット「LOOKふるさと'85」をこのほど町で一千部作成しました。

パンフレットには、町内の企業ガイドコーナー、郡市内の商工会が地元高校生を対象に実施した就職についてのアンケート結果、町の人口の推移、呼びかけコーナーなどが載っています。パンフレットは、地元の良さを見直し、定着、Uターンをしてもらおうと、高校生、中学生、地元を離れていった若い人たちを中心に配ります。

♡会費

- ①会費は年額一万五千円です。ほかに入会金として三千円（三年間有効）をお願いします。
- ②入会金と会費の使途は、特産品の発送、交流会、その他サービスなどに充当し、返還はしません。
- ③有効期間は、入会申し込みをされた翌月から一年間とします。ただし、今年は十月一日から有効期間が発生します。

♡会員の特典

- ①特産品を年三回受け取る

ができます。

- ②イベント等への参加

・二月には雪を、八月には緑と土の香（体験農園等）を楽しむでいただくよう、イベントを開催します。

・町の行事を紹介し、参加申し込み、宿泊施設の利用等をあつせんします。

▽イベントへの参加は別料金となります。

- ③川西町に来ていただいて、スポーツ施設、宿泊施設等を利用される場合は、利用料金を二〇%割引します。

- ④会員になられた方は、ご希望によりお歳暮用の特別セットを申し込めます。会員の皆さま

んに代わって、こちらからお得意やお友達の方々へ、ふるさとの品物を直送させていただきます。

♡申し込み方法

関東一円、信越地域の方ならば、どなたでも申し込みいただけます。

「ふれあいパックの会事務局」

〒948-0011新潟県中魚沼

郡川西町大字水口沢二番地（川西町役場農政係内） ☎025

7(68) 3111へ申込書を請求し、ご記入のうえ、添付の振替用紙か現金封筒で会費を添えて送ってください。

♡メニュー（特産品）を紹介

60年10月 「いまたけなわの秋、いまたけなわの味覚♪」

*基礎品目

新米コシヒカリ・きのこ汁セット・クリ

*選択品目

ナメコ・シメジ・いも類・かき・食用菊・漬物類・大根・もち米

12月 「いよいよ大ヅメ、本年最後のふるさとの味♪」

*基礎品目

切りもち・野沢菜・干そば・豆菓子

*選択品目

黒まめ・あずき・大豆・ぎんなん・くわい・くるまふ・ながいも・干ぜんまい・特選コシヒカリ・もち米

12月 「この1年のごあいさつ、ふれあいの産地直送お歳暮セット」 しめなわ・地酒・特選コシヒカリ

▷このお歳暮セットは別料金となります。

61年5月 「新緑がまぶしい、春一番のふるさとの味♪」

*基礎品目

山菜（ぜんまい・わらび・うど等）・ちまき・アスパラガス

*選択品目

干ぜんまい・くさもち・漬物類・はっか糖・特選コシヒカリ

きん

ふくし

住所が変わったら

国民年金も届け出を

国民年金に加入している人は、住所を変更したときには、役場（住民係）で転出入届といっしょに国民年金の手続きもするようにお願いします。手続きを忘れると、これらの納付方法などをお知らせできなくなり、たいへん困ることになります。

将来、年金を受けるには、保険料を確実に納めておくことがたいせつです。必ず届け出をしてください。

届け出の際は、年金手帳と最近の国民年金保険料の領収書を持参ください。

また、現在国民年金を受けている人も、住所を変更したときや、年金を受け取る機関を変更するときは、「住所、支払機関変更届」を役場に提出（老齢、通算老齢は社会保険庁。障害、母子、寡婦は長岡社会保険事務所へ）してください。

この届を提出しないといると、年金の支払いが遅れたり、支払いに必要な書類が届かなくなってしまうと、このようなことがないように、必ず届け出るようにしてください。



児童手当を

振り込みます

児童手当（二月から五月分まで）を、六月十日付で指定の金融機関に振り込みます。

川西町の婦人団体

現代の婦人会長

団体別 年度	川西町	千手	仙田	上野	橘
昭和22年		丸山タイ	柳 倭文子	星名照子	木村マサ
23		"	"	"	"
24		"	増田フサ	"	丸山ハツノ
25		星名シウ	"	"	"
26		"	南雲 操	"	"
27		"	"	"	"
28		田辺キイ	登坂キシ	"	丸山 操
29		"	"	"	"
30		"	南雲 操	"	"
31		"	"	"	田中直江
32	星名照子	丸山タイ	高橋徳子	"	"
33	丸山タイ	大溪晶子	"	"	"
34	登坂キシ	"	登坂キシ	上村チイ	"
35	田中直江	"	"	"	田口トウ
36	大溪晶子	"	登坂ヨシイ	"	"
37	渡辺愛子	清水タカ	田中久子	"	丸山 操
38	押木あさ	"	押木あさ	富井タキ	"
39	丸山 操	星名セツ	佐藤愛子	"	"
40	富井タキ	"	登坂こま	"	"
41	南雲 良	南雲 良	桐生ミサオ	丸山 房	"
42	佐藤愛子	"	南雲ハルエ	上村タツ	"
43	田口トウ	数藤タツ	"	"	大平きみ
44	富井タキ	"	半田リト	押木タケノ	田中直江
45	小海ふさ	小海ふさ	"	"	藤巻愛子
46	半田リト	"	高野チヨ	清水ハル	小幡ケン
47	田口トウ	藤本テイ	南雲冊子	"	田口トウ
48	清水ハル	"	金子 利	清水リイ	根津トサ
49	藤本テイ	"	南雲ハルエ	"	丸山ミチ子
50	半田リト	数藤タツ	半田リト	押木ヨキ	山家ミイ
51	須藤シズ	"	"	"	須藤シズ
52	入沢ハヤ	"	押木立能	内山君江	秦野トミエ
53	数藤タツ	"	登坂フサ	斉藤正子	丸山トリ
54	半田リト	"	高橋セツ	小海キミ	田中ミチ子
55	佐藤ハツエ	小林サチ子	役員の持ち回り	沢口美江子	藤巻セツ
56	上村喜久	北村カト	"	斉藤トシエ	小幡ヨシ
57	南雲一枝	柳 トク	南雲ハルエ	上村スミ子	解散
58	"	"	地区制解散	古沢棟子	
59	小海トヨ	南雲一枝		児玉 良	
60	北村カト	小林トシ		上村綾子	

封建時代に生まれた婦人団体の草分けは「東京婦人矯風会」で、娼妓の人権や自由廃業・禁酒・禁煙・男女平等を目的に明治二十二年に産声を上げた。

二年後の三十四年に、北清事変（義和団の蜂起）の犠牲者や家族を救う目的で奥村五百子（おおくむら いほこ）が「愛国婦人会」を創立すると、翌三十五年には川西の村々にも支部が結成され、仙田村八四人、橘村四九人、千手町村二九人、

上野村二八人、中野村二〇人の婦人たちが会員に名を連ねた。当時は、主人の社会的地位や家

こうした、いわば特権階級だけの婦人会ではなくて、どこのおカカも平等に手をつないで地

町史の窓

員二〇〇人）を創立したのは日露戦争さなかのことであった。多仁子は大地主増田家の正統な継承者であったが、女王のように君臨できた地位を自ら捨てて婦人会活動に尽瘁し、「大橋ノブ子奉公婦人会」に呼応して恤兵活動に情熱を注いだ。

四十二年には千手町村に「婦人懇話会」が結成された。会員は六十余人で、毎年春秋の二回総会を開き、斯界の名士を招聘

して婦道に関する講話を聞き、修身齊家の基金を蓄積することが主な目的であった。

四十三年には「橘村女子購読会」が結成された。会員となることができたのは小学校の女先生と村の上流夫人で、当時は著名な「白樺」や「アララギ」など数冊を購入して回覧し、年三回集まって知識の交換をした。「青踏社」のできた四十四年には、上野村にも会員二五人の

格のほか会費をどれだけ納めるかによって、会員の身分が五段階に分けられていた。

域の発展に寄与しようと、率島の増田多仁子（安政三年生、昭和十年没）が仙田村婦人会（会

婦人会が生まれたが、このころは第二の文明開花といわれた時代で、「原始、女性は大に太陽であった」ことから、「今は月」になぞらえられた婦人たちが、「失われた太陽を取り戻す」ために婦人の解放や地位の向上を訴えている。

大正期に入ると、国や県の指導で集落や校区を単位に「処女会」が組織された。会員は満十

二歳から二十歳までの未婚の女子であったが、会長・副会長はほとんどが男子で小学校長や村の名望家が就任した。主な事業は精神修養・身体鍛練・裁縫・料理・家事・風俗改善などであったが、この時代の終わりがちになると「処女会」は「女子青年団」に衣替えした。

昭和五年には、文部省の働きかけで官制的な「大日本連合婦人会」が組織された。日本婦道の涵養に努め、「産めよ増やせよ」の国策に順応し、生まれた子をりっぱな赤子・民草に育て、召集令状が来ても「泣かない女」にするためであった。

七年には、陸軍省の強い呼びかけで「大日本国防婦人会」が結成された。出征兵士を送迎し、千人針を縫い、慰問袋を作り、英霊を迎え、防空演習や竹槍訓練に参加して軍国の妻・母となるためであった。

戦後いち早く結成（昭和二〇・八・二五）されたのは「戦後対策婦人委員会」であった。以後は川西の町や村にも民主的な婦人団体が誕生し、自主的な地域婦人会に生まれ変わって新生日本の郷土づくりに貢献した。

そのときどきを、多難な婦人会長として尽くした人たちの氏名は表のとおりである。

はいけい ふるさと さん

ふるさとの情景を心に描きます

松戸市 岡島 ツタさん



先日は、懐しいふるさとの広報をお送りいただきありがとうございます。ありがとうございました。

ふるさとの便りは、雪との闘いの中で鍛えられる新潟県人の根性、大自然の中で私たちを育んでくれたほのぼのとしたぬくもりを伝えてくれました。

あの長い雪の冬が過ぎ、春が来た春が来たと喜び感動、重い

長靴を脱ぎ捨てて土を踏んだときの感触、優しく揺れるかたくりの花、数々のふるさとの情景を目をつむって心に描き、幸せなひとときに浸りました。

ふるさと川西町は、帰省するたびに発展をしています。住みよい生活が道路や耕地整理されたたんぼなどに表れており、近代化されたという感じです。

私は、ふるさとを後にして現在松戸に住み、十年の月日がたちました。同郷の人たちが多く松戸に暮らしていますが、皆さ

ん雪国で鍛えられた根性で、それぞれに幸せな生活を築いています。

お正月に、こちらへ出稼ぎに来ていたおいが遊びに来て、いろいろな話をしているうちに、私が「松戸は雪がないからいいよ」と言ったら、おいは「おれは雪があってもやっぱり川西町がいいよ。春はまたふるさとへ帰り農業をやるんだ」と楽しそうに意欲を見せて語りましたが、ふるさとの住みよい魅力ある町づくりに努力していただける皆さんへ、ぜひお伝えしたい言葉と感じました。こういう会話がある限り、ふるさと川西町は発展していくことと力強く思いました。

白倉の婦人学級で学んでいたころ、「人間死ぬまで学ぶ心

持たねばならない」という話がありました。私は今、千葉県立老人大学で学んでいます。老人大学は六十歳以上の人であればだれでも入ることができます。机を並べて学んでいるうちに、それぞれの人が経て来たことを知るようになります。老後を楽しむ豊かなに生きることを学ぶ老人大学の中にいて、人間が生きてる上に最もたいせつなものは友達と感じています。

山奥の白倉から六十歳近くになつて出て来て、都会の生活に溶け込めるかどうかと不安でしたが、若い者のおかげで幸せな毎日を過ごしております。これからも健康に気をつけ、家族に負担をかけないようにがんばります。（写真は白倉にいたときのもの）

ご存じですか 人権擁護委員制度

昭和二十四年六月に人権擁護委員法が施行され、民間人によって国民の基本的な人権を擁護し見守る、いわば人権の番人の機関が誕生しました。これが人権擁護委員制度です。

人権擁護委員は、市町村長に地域住民の中から人格識見の優れた人を推薦してもらい、法務大臣が委嘱しています。

▽川西町の人権擁護委員
*須藤茂一さん（仁田）

☎（68）2862

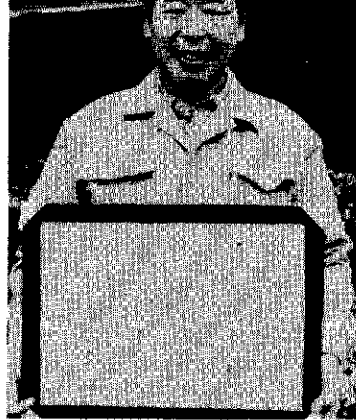
有線 5172

*中村謹治さん（坪山）

☎（68）3177

有線 3150

※お気軽にご相談ください。



感謝状を手に引間さん

先月十七日に、十日町警察署長は、人命救助をされた引間寿一さん（坪山）へ感謝状を贈りました。

引間さんは、四月二十日の午後三時四十分ごろ、会社の仕事で道路を見回っていたとき、野

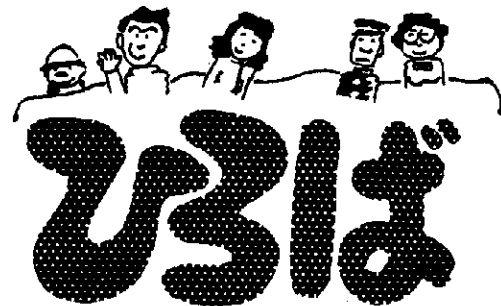
人命救助の

引間さんに感謝状

口地内（大原の新県道との分岐点から一キロほど孫四郎側へ寄った旧県道）で、残雪の斜面にうずくまっていた人を発見し、車のところまで約二百メートルを背負い、仁田駐在所へ連絡、救急車を手配することによって救助しました。

救助された人は十日町市の三十六歳の男性で、山菜採りに来ていた人でした。

引間さんのお話によると、「霧が深かったので道に迷ったのと、背中の山菜の荷が重かったため極度の疲労に達し、腰を下ろしたとたんに意識を失ったの



田植え後の天気恵まれて、水稻の育ちは順調のようです。山の木々も緑を深め、生き生きとしてきました。

梅雨の季節に入ります。あじさいが雨音に歌うころ、という情緒がありますが、うっとしい時期に変わりはありません。心のさわやかさで、この時期を過ごしたいものです。

「ブナ林まつり」で 憩いのひととき

「二六公園ブナ林まつり」が、先月二十六日に行われました。この日は、前日からの雨が午前中も降り続きましたので、ブナ林の中での行事は無理と思われましたが、お昼ちよっと前に雨が上がり、正午からの「まつり」に間に合いました。



歌謡ショーや子供宝さがしなどで「まつり」は盛り上がり、宴たけなわのころには木漏れ日が舞台を照らしました。

優良無事故 運転者を表彰

六十年年度川西町優良無事故運転者表彰式が先月三十一日、総合センターで行われました。

今年表彰を受けた人は、川西町顕功賞などを含め、合計で百四十二人でした。

四十年間の無事故無違反で表彰をされた方もいらっしゃいます。

では……」とのことでした。

あと一時間助け出すのが遅かったら命が危なかったといわれています。

十日町警察署の交通課長は講話の中で、「交通ルールを守ることと、やさしさと思いやりを運転の基本に……」と話されました。

優良運転者の顔、顔



▶ プロ歌手登場
▲ 地酒をくんで



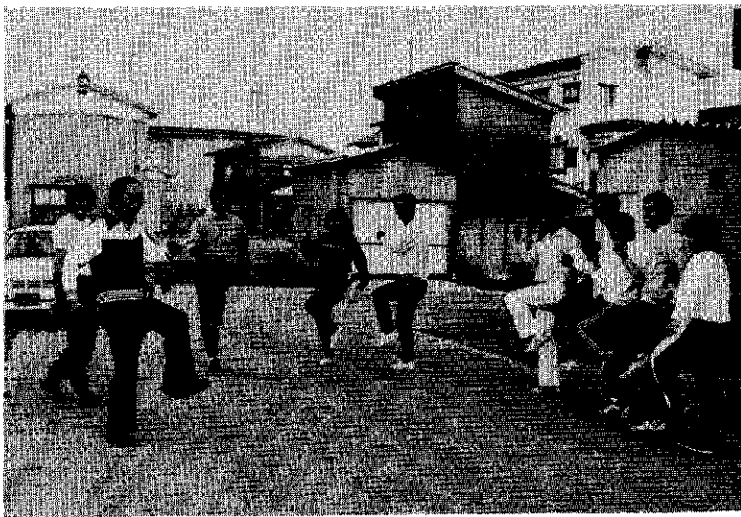
スパイク決まるか？

フレッシュバレー

ボール婦人大会

優勝は上野チーム

先月二十六日に総合体育館で開かれた第五回フレッシュバレーボール婦人大会には七チームが出場し、熱戦の結果、上野チームが優勝しました。



住宅の前で踊りを披露

「山野田住宅音頭」が誕生

振り付けもあります

「気持ちを一つにして、みんなで楽しく住宅生活を送ろう」ということで、山野田住宅にお住いの先生方が協力し、4月下旬に「山野田住宅音頭」をお作りになりました。

作詞が、中沢松治さん（上野小・校長先生）、作曲は、新保裕子さん（川西中・教諭）、振り付けは、女の先生方が考えたものです。

山野田住宅音頭 作詞 中沢松治
作曲 新保裕子



山野田住宅音頭

- 一、ハアー妻有の深雪が 春を呼ぶ
セリとキノメと フキノトウ
待つて待たれた 土の香が
ソレ山野田住宅 春がくる ソレ春がきた
- 二、ハアーポッカリ浮かんだ 夏の雲
四方八方 花火の輪
眺めて涼し 屋上の
ソレ山野田住宅 夏がくる ソレ夏がきた
- 三、ハアー桐の香におう いわし雲
ナシの実落ちる 音静か
信濃の川が 秋を呼ぶ
ソレ山野田住宅 秋がくる ソレ秋がきた
- 四、ハアー山野田原に 雪が降る
乙女の黒髪 雪が散る
今夜も雪掘り 顔と顔
ソレ山野田住宅 雪が降る ソレ雪つもる

わしの自慢

写真「婿投げ祭」に 県展奨励賞

坪山 高橋弘幸さん

今回は、第四十回県美術展覧会（県展）写真部門で奨励賞に輝やかれた高橋さんを訪ねてみた。

「奨励賞の「婿投げ祭」は、

今年一月十五日に松之山で撮ったものです。この日は朝から晴れ渡りましたので、松之山の小正月行事を見に出かける気になったのです」

県展への応募は、去年に続き二回目とのことである。

「この写真を仲間と研究したところ、賞に入ると折り紙がつけられました。カメラはニコンのFA、タムロンの九十ミリのレンズを使いました」

新聞紙上では五月二十三日に発表があった。

「自分の名前を見つけたときは、やったという感じと、ほっとしたという感じが入り混じりました」

高橋さんが写真を始めたのは二年ぐらい前でしかない。

「十日町公民館の青年学級写真コースで、毎週木曜日の夜に勉強しています」

写真に要するお金は、一か月一万円くらい、フィルムは三十六枚撮りで三、四本くらいとのこと。

「写真の楽しさは、いいシャッターチャンスをつらえたときです」

去年の暮れに暗室を作り、現像からプリントまで家でできる。

「金をかけたので、写真はズウーと続けます。今までどおりスナップが中心ですね」と高橋さんは満足げだった。

高橋さんと奨励賞の写真



「健康にいがた クローバー運動」の ポスターを募集



シンボルマーク

(マークのシンボルカラーはグリーンです)

新潟県は、県民の健康づくり運動の中で、日常生活での具体的な実践活動として、

- ①母乳で育てよう
- ②塩分を減らそう
- ③牛乳を飲もう
- ④緑の野菜を食べよう

の4つの運動を推進しているところだ。

この4つの運動を「幸せ、を呼ぶ四つ葉のクローバーにちなみ、「健康にいがたクローバー運動」という愛称で呼んでいます。

健康にいがたクローバー運動に対する認識を深めていただくために、広く県内の小学生、中学生、高校生、それに一般の方から、この運動のポスターを次により募集しますので、ふるってご応募ください。

▷募集期間

6月10日～9月10日

▷募集対象

小学生、中学生、高校生、一般

▷作品審査

審査員を選定して審査

▷発表

10月の予定(入選者に通知するとともに適当な方法で発表)

▷表彰

各部門優秀作品に対し、賞状と記念品を贈る

※作品は、役場保健衛生課でまとめます。問い合わせも保健衛生課へお願いします。

登記関係手数料

「登記印紙」で、納めることに

登記簿等の謄抄本交付・閲覧・証明の申請に要する手数料が、7月1日から「収入印紙」でなく、「登記印紙」によって納めていただくことになります。

登記印紙は、全国の集配郵便局や登記所最寄りの郵便局、印紙売りさばき所で販売されます。

この印紙は、登記簿の謄抄本等の手数料を納める場合だけに使用するものであり、売買や相続等による所有権移転、抵当権設定、会社の設立・変更等の登記の申請に要する登録免許税は、これまでどおり収入印紙で納めていただきます。

また、登記簿の謄抄本等の手数料が、7月1日から次のように改定されます。

- ①登記簿謄抄本は、1通につき400円(1通が10枚を超えるものは、その超える枚数5枚ごとに100円加算となります)
- ②不動産登記簿の閲覧や登記事項に関する証明は、1件につき200円

※詳細は、新潟地方法務局十日町出張所〔☎(52)2575〕へ。

警察官(大卒)の募集

新潟県男子警察官(大学卒業)の募集が次により行われます。

- ①応募受付期限 7月25日

②受験資格

昭和33年4月2日から39年4月1日までに生まれた男子で、大学(短期大学を除く)を卒業した人、または61年3月31日までに卒業する見込みの人

③試験の日時・場所

(1)第1次試験 8月4日・新潟市(白新中学校)

(2)第2次試験 9月上旬

※受験申込用紙は、十日町警察署、各駐在所にありますので、お申し出ください。

ガイド

情報

相続と税金

相続税は、亡くなった人(被相続人)の財産を相続や遺贈(遺言によって財産を譲ること)などによってもらった人(相続人など)にかかる税金です。

しかし、もらった財産のすべてにかかるわけではありません。

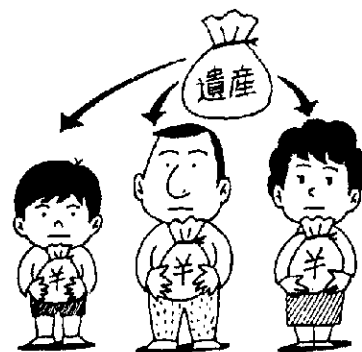
被相続人の遺産の総額から非課税財産および被相続人の債務や葬式費用を差し引いた正味の遺産額が基礎控除額を超えている場合、その超えた額に税金がかかります。

基礎控除額は、2,000万円と400万円に法定相続人の数を掛けた金額との合計額です。

また、相続人が配偶者や未成年者あるいは心身障害者であるときには、相続税から税額控除が受けられます。

相続税の申告と納税は、被相続人が死亡した翌日から6か月以内に、被相続人の住所地を所轄する税務署に申告と納税をしなければなりません。

詳しくは、十日町税務署〔☎(52)3181〕へどうぞ。



善意

次の善意が寄せられました。

◆一般寄付金

*東京橋会(代表・丸山伴四郎さん)から、広報発行の一助にと三万円

*室岡倉二さん(流山市)から、広報発行の一助にと一万円

*小林正信さん(中仙田)から、保育所関係に充てるようにと二万円

◆社会福祉協議会へ

*片桐栄一さん(木落)から二万円

*石沢邦治さん(上町)から十万円

*清水康三郎さん(木島)から五万円

*東北電力・電気友の会から一万円

*星名佐平さん(伊友)から一万円

*高橋勇さん(神社町)から五万円

東北電力が

防犯灯を寄贈

東北電力では、五月二十七日から六月五日まで、「春のサー

ビス旬間を実施しました。

サービス旬間の重点項目は、①地域社会との誠意ある対話活動の展開、②地域の立場に立ったサービス活動の展開、ということでした。

旬間初日の先月二十七日、星十日町営業所長が役場を訪れ、防犯灯を二灯寄贈されました。



星所長(左)から目録を受ける町長

民俗資料

- ・小島利幸さん(新町新田)から、イヌス
- ・酒井宗平さん(中央町)から子供着多数、うぶぎ
- ・井上季吉さん(神社町)からツツミ太鼓(小太鼓)、太鼓、マンマツグラ、イリナベ、鍋
- ・渡部正巳さん(野口)から、機械ウス、コナシギカイ(小切マンガワ)、モモシキ、芋(芋麻)、シヨイバシゴ、ワラジ多数、九尺ムシロ、子供セナコージ、五輪馬、ミノ、

ほか多数

・石沢理平さん(田中町)から、糸バカリ、サオバカリ、オケ、髪飾

心配ごと相談

・6月12日……橘出張所

・6月19日……克雪センター

・6月26日……総合センター

(行政相談も行います)

・7月3日……上野連絡所

・7月10日……橘出張所

※時間は午後一時から三時までです。事前に事務局(☎(68)2308)へ相談内容を連絡ください。

町内さんぽ

木落から献上米

山家さん、5月21日に田植えの儀



関係者による田植えの様子

川西町のコシヒカリは、全国に名が響いています。大相撲の本場所優勝力士に、全農賞として米が贈られていますが、その第一号は川西米でした。さて今後は、川西町から六十年産のコシヒカリを天皇陛下に献上することとなりました。こ

の米管は、木落の山家清作さんが受けられたもので、先月二十一日に、木落地内の二十アールの水田で田植えの儀が行われました。

田植えは、神式で豊作を祈願した後、山家清作さん、魚沼農政事務所次長、中魚沼農業改良普及所長、川西町長、新潟川西農業協同組合長、それに地元の人たちを加えた約三十人によって、手植えで実施されました。山家さんは、「精進をして、りっぱな米を作りたい」と話されました。

新潟県からは、毎年一農家が米を献上していますが、県内の市町村を順番に割り当てたという場合、水稲の作付けをしていない粟島浦村が除かれますので、今回の川西町からの献上米は百十一年後となります。良質米の名産がさらに高まれば、早くなると思われませんが……。

停電のお知らせ

今回は
ありません。

くらしと健康

乳ガンの発見は

自己検診で

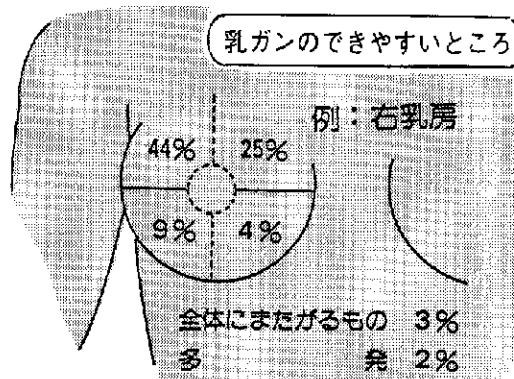
乳ガンが近ごろ増加の傾向にあり、この状態が続くと二十十年後には女性のガンの第一位になるといわれています。

乳ガンは、ホルモンによって支配されます。戦後は食生活が欧米化し、一般に体位が向上して初潮年齢が早くなってきました。その反面、結婚は遅くなっています。

乳ガンは、初妊娠の遅い人、妊娠や出産回数の少ない人、授乳期間の短い人、未婚の女性などに高い危険度があるといわれています。年齢的には四十五歳から四十九歳まで、四十歳から四十四歳まで、五十歳から五十五歳までの順に多く発生しています。最近では欧米と同様に、閉経後の人にも増加の傾向が見られるようになりました。

▼三十歳を過ぎたら自己検診を
乳ガンは、コリッと

乳ガンのできやすいところ



したシコリが主な症状ですから、柔らかい乳房の中に潜んでいるシコリを見つける感触を覚えることが早期発見の第一歩です。

自分の体を自分で観察する習慣を身につけ、月に一回は自己検診を行い、異状に気づいた場合は、観察の結果を正しく医師に報告して診断を受けてください。

町では、十月二日、三日に子宮ガン検診を計画していますが、これにあわせて乳ガンの自己検診法を指導します。で、子宮ガン検診をお受けのうえ、乳ガンの自己検診方法をマスターされるよう、お勧めします。

戸籍の窓から

たかさご一〇円満に

- ◎新郎 丸山 弥一 根 深
- ◎新婦 黒田 あけみ 新井市から
- ◎新郎 蔵品 真隆 霜 条
- ◎新婦 馬場 真理子 元 町から
- ◎新郎 清水 和宏 発電所通東
- ◎新婦 上村 明子 中里村から
- ◎新郎 相崎 與市 沖 立
- ◎新婦 高橋 ゆき子 十日町市から
- ◎新郎 南雲 茂 中央町
- ◎新婦 水口 久美子 青森県から
- ◎新郎 星名 哲夫 高原田
- ◎新婦 星名 京子 高原田から
- ◎新郎 齋木 悦雄 小 脇
- ◎新婦 岡本 春美 秋田県から

- ◎新郎 富井 敏 上 野
- ◎新婦 井ノ川 孝子 中里村から
- ◎新郎 沢口 吉幸 下平新田
- ◎新婦 濱田 祥子 十日町市から
- ◎新郎 高橋 和男 坪 山
- ◎新婦 伊藤 充子 三重県から

うぶ声—おすこやかに

- ◎平野 奈奈子 清 二女 四郎兼
- ◎村越 優子 久吉 長女 野 口
- ◎村越 藍子 浩明 長女 野 口
- ◎根津 絵理奈 秀一 長女 上 野
- ◎片桐 拓哉 莊一 長男 木 落
- ◎樋口 未央 弘之 長女 中仙田
- ◎永井 明光 健二 長男 木 落
- ◎藤巻 裕 敏雄 長男 塩 辛

昇天—ごめい福を祈る

- ◎高橋 茂 神杜町 五六
- ◎石澤 スミ 上 町 六六
- ◎片桐 莊太 木 落 八一
- ◎小林 仲藏 中仙田 八三
- ◎藤巻 マキ 塩 辛 八九

5月の交通事故発生件数

件数	死者	負傷者	計
1	(1)	6	(5)
3	(0)	9	(5)
0	(1)	0	(1)
0	(0)	3	(0)
6	(1)	10	(2)

()内は前年比較



かわにし

俳壇

太田白南風選

岩瀬 小川 益栄

漁りの舟の行き来やおぼろ月
赤シャツを着てトラクター畑を打つ
行く春や悲しき使りに聞きしこと
溪流の流れを分けて水芭蕉
ぶどう棚赤き若芽の垂れて伸ぶ
赤谷 登坂 酔月

母の香の粽の届く頃となり
金雀枝の燃ゆるが如く陽を返し
大鍋に煮たぎる香り笹粽
鎌腰に棕の笹をひと抱え
成人の娘に桐の花こぼるるよ

霜条 星名 星光

芝桜咲いて明るき村の墓地
根付け肥万遍に撒く植田かな
左利き右利き親子蛙を塗る
角兵衛と書かれし梅雨の地蔵笠

赤谷 小川 秀

山村の田植休みや笹ちまき
桐の花吹けば唇ほろけき

茄子蒔いて一と日遅れし湯治かな
人もなき仮設事務所や猫柳
石上の鉢巻白し柿若葉
三領 水品 律
まろやかな新茶の風味に安らぎて
草笛を鳴らし来る児や草の道
雪解水湛えて深きダムの色
代播きの泥ぼとぽとと鳴り進む

中仙田 左 木 人